

■日時 令和7年8月22日(金) ■天候 曇り

精華学園高校 広島・通 対 千葉県立松戸南高校

■球場 明治神宮野球場 第1試合 3回戦

■試合時間 2時間58分 ■備考

■審判 球審:清水 塁審:栗村 柳瀬 米倉

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
松戸南	千葉	0	7	0	0	0	1	0	1	4	13	8	3
精華学園広島・通	西中国・広島	0	0	0	0	3	0	0	0	1	4	5	2

松戸南

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	遊	平野 佑馬	2	1	0	0	一ゴ	四球		投邪		投犠		四球	四球	四球			
2	一	馬場 海仁	4	1	0	1	遊ゴ	四球		三ゴ		四球		四球	捕邪	投ゴ			
3	投	山田 明正	4	2	2	2	四球	左安				三ゴ	投ゴ		四球		右安		
4	捕	上條 武人	4	2	1	0	四球	中安			投失	遊ゴ		二ゴ		四球			
5	二	鷺田 海誠	2	2	0	1	三振	中犠			三ゴ		四球		四球	死球			
6	左	小林 拳	2	3	0	0		死球	三振		四球		四球		右飛				
6		柴山 常将	0	0	0	1										四球			
7	三	金子 未唯奈	2	0	0	1		四球		四球	三振		投直		四球	四球			
8	中	嶋田 幸太	4	1	2	2		中安		三振		四球	中安		四球	二ゴ			
9	右	向山 響	4	1	3	0		右安		中安		右安		四球	三振				
9		佐宗 健心	1	0	0	0											三振		
9		澤田 祐希	0	0	0	0													
合計			29	13	8	8	残塁:16 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
山田 明正	上條 武人
鷺田 海誠	
山田 明正	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
山田 明正	4	15	1	5	2	0	60
鷺田 海誠	1	8	1	0	4	2	35
山田 明正	4	17	3	7	0	0	65

精華学園広島・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	投	豊田 愛仁	4	2	1	1	中飛		死球		遊安		三ゴ		三失				
2	遊	脇 大和	4	0	0	0	三振		三振		投ゴ		遊ゴ						
2		橋本 莉桜	1	0	0	0									三振				
3	捕	近藤 晴空	4	0	2	1	一邪			中安	四球		三振		左2				
4	一	恵美 龍斗	4	0	0	0		一邪		二直	四球		三振		一ゴ				
5	右	和田 耕太郎	4	0	1	0		投ゴ		三振	三ゴ			中2					
6	二	幸川 凱音	4	0	1	0		投ゴ		三振		右安		三失					
7	三	溝手 琢史	3	1	0	0		投ゴ		四球	三振		三振						
8	左	平岡 斗磨	2	1	0	0			四球	四球	三振		三振						
9	中	宮本 琉世	2	0	0	0			三振		三失	投飛							
9		武井 泉樹	1	0	0	0													
9		西村 宙晃	1	0	0	0									三邪				
合計			34	4	5	2	残塁:9 併殺:1												
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
豊田 愛仁	近藤 晴空
脇 大和	和田 耕太郎
和田 耕太郎	近藤 晴空

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
豊田 愛仁	5	0/3	33	6	4	12	5
脇 大和	3	0/3	19	2	1	12	5
和田 耕太郎	1		4	0	1	1	19

■戦評

神宮球場で行われた準決勝第1試合は2回戦を共に二桁得点を奪い勝ち上がった精華学園高校・広島・通信制と千葉県立松戸南高校の対戦となった。松戸南は2回2点を先制しなお一死満塁の好機に3番山田が適時安打を放ち相手の守備が乱れる間に自らも生還し4点を追加するとその後さらに1点を加え序盤から大量リードを奪う。3回4回5回と得点圏に走者を背負いながらも追加点を許さなかった精華学園・広島は5回裏この回から救援した松戸南2番手鷺田を攻め1番豊田の適時安打などで3点を返す。引き離したい松戸南は6回8番嶋田の適時安打で1点を追加すると8回9回に四死球で出塁した走者がバッテリーエラーにより生還するなどして5点を追加し試合を決めた。粘る精華学園・広島は9回裏3番近藤の適時二塁打で1点を返したが反撃もここまで。13-4で松戸南が勝利し準決勝に進出した。一方敗れた精華学園・広島は登板した3人の投手が計25四死球と投手陣が制球に苦しみ無念の敗戦となった。